

第 75 回明石市環境審議会 会議録

2022 年（令和 4 年）5 月 19 日（木）

15：00～17：00

明石市役所議会棟大会議室

出席委員：13 名

○諮 問 明石市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の改定について
審議会の開催に先立ち、泉市長から環境審議会小幡会長へ諮問を行った。

○第 75 回環境審議会

1. 地球温暖化対策推進部会の設置について（資料1）

（事務局）計画の改定にあたり、環境基本条例の規定に基づき、新たに「地球温暖化対策推進部会」を設置したい。承認をいただければ、委員は会長の指名により構成し、関係者として有識者 2 名に参画をいただく予定。

● 部会の設置について承諾され、部会委員については、会長より指名を行った。

2. 計画の改定スケジュールについて（資料2）

（事務局）部会を 3 回程度開催し、秋頃までに部会案（計画素案）をとりまとめていきたい。夏頃に審議会委員に書面にて検討状況の報告をさせていただく。

3. 計画の改定について（資料3）

（事務局）計画改定の主旨、国や県の動き、本市の状況について資料 3 により説明

【質疑応答】

<削減目標について>

（委員 A）国の 46%削減の目標に対し、本市の削減目標は 26.5%。今後、削減目標を強化するという表現だが、現状目標は国と大きく乖離があるので、積極的に検討していくべき。

（委員 B）2030 年度の目標を考える時に、これまでのように削減を積み上げていく方式ではなく、バックキャストिंगが必要なのは明らか。部会では、そのような方向で検討をお願いしたい。

（委員 C）国は 46%、県は 48%の目標を出しているので、市も 50%前後を目指して検討していくことになると思う。

<取り組みについて>

○全体の方向性

（委員 B）2030 年の目標達成に向けては、取り組み内容が重要。明石の地形的な資源（海も含め）を改めて見直し、明石らしく、明石で効果のある取り組みを検討してほしい。

(委員 B) 脱炭素の取り組みが、明石の経済を強くするという方向を共有して、検討をしていてもらいたい。短期的にみると、対策はコストと考えられる傾向があるが、長期的に見て、決して経済のブレーキにならないということを事業者にも共有できるような方向性を打ち出してほしい。

(委員 F) 脱炭素に向けては市民の取り組みも重要。それらも本計画のロードマップに記載されていくということによいか。

● 部会で検討し、記載する。

○再生可能エネルギーの導入促進について

(委員 B) まずは行政が率先することが必要。市の施設の再エネ導入を含め、CO2をどう減らしていくかが問われる。

(委員 A) 明石らしさの一つにため池がある。ため池は環境の一つであり、再エネをどんどん導入するというのは歓心しない。再エネの導入促進を図るうえでは、環境配慮も必要。

(委員 F) 再エネの導入を促進するうえで、明石ではなんとなく太陽光が一番良いという感覚はあるが、なぜ太陽光を軸とすることにしたのかその理由を知りたい。また、太陽光を軸とする場合、蓄電池もセットになると考えてよいのか。

● (事務局) 昨年度、市域の再生可能エネルギーポテンシャル調査を行い、太陽光や小水力、バイオマスなど種別ごとに推計した。結果について、資料の表にある通り、太陽光発電のポテンシャルが圧倒的に大きくなった。将来的には技術革新等によりさまざまな可能性があるが、直近の2030年を見据えた場合には、太陽光が軸となるという判断。地域の脱炭素化を進めるためには、太陽光の導入とあわせて蓄電等を含め、地産地消の取り組みが重要になると考えている。

(委員 F) 再エネ電気を利用するという方法は、家庭などでもされており、先進的な事例として公共施設でもRE100の取り組みがなされている。自分たちでエネルギーを創り出すという面にくわえて、再生可能エネルギーを利用するという面の取り組みも明石市でできるのではないか。

● (事務局) 国の地域脱炭素ロードマップの重点対策でも、再エネ電力の調達は掲げられており、自治体の実施を検討すべき施策になると考えており、コストも踏まえ、効果的な手法を検討する必要もある。

(委員 G) 太陽光を軸としていくという点で、昔調べたところでは長野県や岐阜県の実績が大きかったように思う。例えば、天候によって発電が左右されるなど、年間全体を通してみた場合効率がどうなのかというところで議論が必要かと思う。明石でいえば、潮風などは太陽光パネルに悪影響があると思う。10~15年で劣化してしまうようなこともありうる。そのあたりの点も踏まえて、どういう場所で本当に効果があるのかを丁寧に調べてほしい。

○CO2 吸収に関する取り組みについて

(委員 D) ため池に太陽光を導入する方法とため池の水草を増やす方法で、どちらが CO2 削減に効果的なのかを検証していただきたい。太陽光を導入するというのは簡単な方法かもしれないが、いろいろな環境影響も懸念される。

(委員 E) 明石らしい特徴として海という話があったが、海のアマモが最近明石でも増えているように感じる。アマモは CO2 を吸収するブルーカーボンという見方も出ており、近隣では、淡路島や神戸市でもそういう取り組みがでているので、検討してほしい。

4. その他

昨年度審議をいただいた「第3次明石市環境基本計画」および「明石市一般廃棄物処理基本計画」について、4月21日に会長より市長に答申をいただき、計画を策定した。